

Necydalis 属の研究史(I)[†]

草 間 慶 一[†]

(静岡大学理学部)

1. 発 端

Necydalis 属の歴史やこの属のタイプ種およびその指定について調べてみようと思いついたのは、LINSLEY (1963年)¹⁾ が *Molorchus* 属のタイプ種の所で、「*Molorchus* と *Necydalis* のタイプ種は疑問で、確定されていない」と書いており、また CHEMSAK (1964年)²⁾ も *Necydalis* のタイプ種について同様に、「*Molorchus* とのタイプ種の疑問は解決されていない」とあったからで、専門家が調べて不明ならば自分が調べて解決できると思わないが、どこが不明で決定できないのか知りたいて考えて文献をあさりだした。昨年ちょうど10年目に、はからずも多摩動物公園の高家博成氏より教えて載った文献により、一応自分なりにある程度この問題が解決できたと思っている。

Necydalis 属の歴史を調べるとということは、そのままカミキリの研究史を調べることの重要な一端を担うことにもなるので、歴史的に述べてみることにする。

まず、*Necydalis* とはどういう意味だろうか。小島圭三・林匡夫氏の原色日本昆虫生態図鑑1 (1969年) にはカミキリの属の語源が非常によく入っているが、*Necydalis* の所は不明となっている。MULSANT (1839年)³⁾ によると、ギリシャ語 νεκύδαλος (*nekýdalos*) からで、「絹を生産するカイコのサナギを示すために、アリストテレスにより使用された名前」とある。

1758年、LINNÉ は *Systema Naturae* の第10版中でこの語を借用した⁴⁾ が、この他 *Coleoptera*, *Diptera* もアリストテレスが作った語を LINNÉ が採用した例である。

2. LINNÉ の属について

前にも書いたことがある⁵⁾ が、1758年に LINNÉ が *Necydalis* 属を設立した時、彼はこれがカミキリであるとは考えず、ハナノミ科 (*Mordella* 属) とハネカクシ科

(*Staphylinus* 属) の間に置いた。その時この属には *major* と *minor* の2種が含まれていた。これらの種はいずれも1758年以前から知られており、名前もついていた。これら2種の LINNÉ の記載を訳してみると、

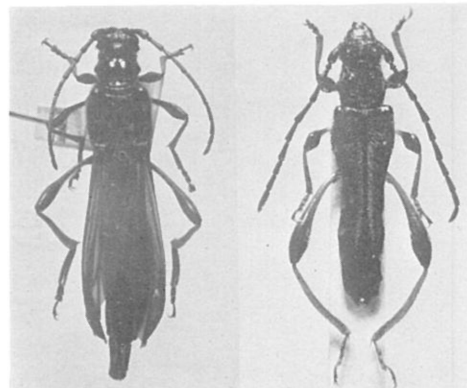
N. major: 翅鞘は赤褐色で斑紋はない、触角は体長より短い

SCBÄEFFER モノグラフ1753, 図1, 2
Musca-Cerambyx major
ヨーロッパに産する

N. minor: 翅鞘は黄褐色、先端に白い線状の紋、触角は体長より長い

Fauna Svec.⁶⁾ 697, *Necydalis*
翅鞘は黄色で白い線模様
SCBÄEFFER モノグラフ1753, 図6, 7
Musca-Cerambyx minor
ヨーロッパに産する

とある。これで明らかなように、*minor* の方はすでにスカンジナビア地方のファウナを書いた第1報 (1746年)⁶⁾ に入っており、この種に対して *Necydalis* なる属名が与えられているが、*major* の方については何も記載されていない。なお *Musca* は現在、イエバエの属名に用いられている。もちろんこれら1758年以前の文献は動物界の分類学には引用されないのであるが、1800年代後半



第1図 *Necydalis* と *Stenopterus* の例
左: *Necydalis major* LINNÉ ♀
右: *Stenopterus rufus* LINNÉ ♂

[†] KUSAMA, Keiichi: Historical Review of *Necydalis* (Cerambycidae) (I)

第1表 1767年に *Necydalis* に属していた種と現在の取り扱いについて

頁	番号	種名	現在の科と属	備考
641	1	<i>major</i>	<i>Necydalis</i>	本種の命名者は SCHREBER (1759)
	2	<i>minor</i>	<i>Molorchus</i>	
	3	<i>umbellatarum</i>	<i>Molorchus</i>	
642	4	<i>coerulea</i>	カミキリモドキ科	現在の種名は <i>ater</i> 現在の種名は <i>rufus</i> <i>Leptura necydalea</i> LINNÉ (1758) のシノニム
	5	<i>atra</i>	<i>Stenopterus</i>	
	6	<i>rufa</i>	<i>Stenopterus</i>	
	7	<i>glaucescens</i>	<i>Isthmiade</i>	
643	8	<i>flavescens</i>	カミキリモドキ科	
	9	<i>podagrariae</i>	カミキリモドキ科	
	10	<i>simplex</i>	カミキリモドキ科	
	11	<i>brevicornis</i>	カミキリモドキ科?	

第2表 *Necydalis* とその関連する属

著者	年代	翅鞘の短縮しているもの	翅鞘の狭く細くなるもの
LINNÉ, 1758		<i>Necydalis</i>	ナ シ
"	, 1767	<i>Necydalis</i>	<i>Necydalis</i>
FABRICIUS, 1775		<i>Leptura</i> の一部	<i>Necydalis</i>
"	, 1792, 1801	<i>Molorchus</i>	<i>Necydalis</i>
SCHRANK, 1798		<i>Gymnopteron</i>	不明
ILLIGER, 1804		不明	<i>Stenopterus</i>
LATREILLE, 1804, 1807		<i>Molorchus</i>	<i>Necydalis</i>
LEACH, 1815		<i>Molorchus</i>	<i>Necydalis</i>
CURTIS, 1824		<i>Molorchus</i>	<i>Necydalis</i>
LATREILLE, 1829		<i>Necydalis</i>	<i>Stenopterus</i>
STEPHENS, 1831		<i>Molorchus</i>	<i>Stenopterus</i>
SERVILLE, 1832		<i>Necydalis</i>	<i>Stenopterus</i>
CURTIS, 1834		<i>Necydalis</i>	ナ シ
STEPHENS, 1839		<i>Necydalis</i>	<i>Stenopterus</i>
WESTWOOD, 1839~40		<i>Necydalis</i>	<i>Stenopterus</i>
MULSANT, 1839		<i>Necydalis</i> , <i>Molorchus</i>	<i>Stenopterus</i>
NEWMAN, 1840		<i>Necydalis</i> , <i>Heliomanes</i>	不明
WHITE, 1855		<i>Necydalis</i> , <i>Heliomanes</i>	<i>Stenopterus</i>
C.G. THOMSON, 1859		<i>Necydalis</i> , { <i>Molorchus</i> <i>Caenoptera</i> *	不明
J. THOMSON, 1860, 1864		<i>Necydalis</i> , <i>Molorchus</i>	<i>Stenopterus</i>
MULSANT, 1862		<i>Necydalis</i> , { <i>Molorchus</i> <i>Linomius</i> * <i>Sinolus</i> *	<i>Stenopterus</i>
FAIRMAIRE, 1864		<i>Necydalis</i> , { <i>Molorchus</i> <i>Conchopterus</i> **	<i>Stenopterus</i>
LACORDAIRE, 1869		<i>Necydalis</i> , { <i>Molorchus</i> <i>Conchopterus</i> **	<i>Stenopterus</i>

* 3者とも *Molorchus* の亜属として記載された。

** FAIRMAIRE (1864) が属として記載したもの。

での論争の所で出てくる。

1767年, LINNÉ は *Systema Naturae* の第12版で, *Necydalis* を *Leptura* の次に置くと同時に, 新たに9種を追加した。この追加された種の中では *umbellatarum* のみが翅鞘の短縮された従来と同じグループのもので, その他は翅鞘の狭く細くなっている種であったため, その後の混乱を引き起す原因となった。この追加された種を第1表に示した。

3. FABRICIUS の属について

FABRICIUS が1775年に彼の昆虫の分類を発表した時, LINNÉ の *Necydalis* が雑然としていたので, それを整理して彼の *Necydalis* には翅鞘が狭く細くなるグループの種のみを入れた。そのためカミキリとしては, 現在の分類で *Stenopterus* 属に入っている *rufa* と *atra* のみであった⁷⁾。

一方, 翅鞘の短縮された種に対しては,

- Leptura abbreviata* (=major)
- L. *dimidiata* (=minor)
- L. *umbellatarum*

として, 最初の LINNÉ の種名を採用しなかった。

1792年に *Molorchus* 属を新設して⁸⁾, *Leptura* 中の上記3種とオーストラリア産の *variegata* (現在の *Hesthesis*) の4種を含めた。そして *major* と *minor* をそれぞれ *abbreviata* と *dimidiata* のシノニムとしている。

また, FABRICIUS の *Necydalis* の方は26種となったが, このうち現在カミキリと認められているのは, No.11, *atra*; No.17, *rufa*; No.18, *praeusta* (現在 *Stenopterus*); No.24, *glaucescens* (現在 *Isthmiade necydalea*) の4種で, 他はジョウカイボン科, カミキリモドキ科などであった。

1801年の論文⁹⁾ も以前と同じ意見で, 翅鞘の短縮した *Molorchus* はやはり4種と変化がないが, 狭く細くなるグループの種を含む *Necydalis* の方は33種に増加している。

4. *Necydalis*, *Molorchus* および *Stenopterus* 属の関係

今まで述べたように, *Necydalis* に対する LINNÉ の定義の不確実さと, LINNÉ と FABRICIUS との間の最初からの属の性格の違いが, その後の混乱と論争の原因となった。これを年代を追って眺めてみることにする。

1804年, ILLIGER¹⁰⁾ は翅鞘の狭くなっている種類に *Stenopterus* なる新属を作り, *rufus*, *ater* として LINNÉ の *rufa*, *atra* を含めたが, この属は1829年の

LATREILLE および 1831年の STEPHENS によって採用されるまで, まったく無視されてしまった。

当時の主流を占めていた LATREILLE の分類は, 1804年¹¹⁾から

- { 翅鞘が非常に短い……………*Molorchus*
- { 翅鞘が錐状である……………*Necydalis*

との意見を変えていない。これに LEACH, CURTIS などのイギリスの昆虫学者も同意している。

第2表に示したように, 1830年頃までは FABRICIUS や LATREILLE の分類にしたがっていたことが判る。*Stenopterus* が再認識されて後は, 短縮種に *Necydalis* を当てるか, *Molorchus* にするか意見が分かれていたが, 1840年頃までは現在の3属は2属にまとめる人が大部分であった。

翅鞘の短縮されている種類をさらに2属に分けたのは1839年のフランスの昆虫学者 MULSANT が最初である。彼の分類の検索表を示すと,

- { 触角は細長く, 体と同じか, または長い。第3節は第5節と等しいか, またはほとんど等しい……………*Molorchus*
- { 非常に短い { 触角はずんぐりしており, 体長の $\frac{2}{3}$ にはほぼ等しい。第3節は明らかに第5節より短い……………*Necydalis*
- { 腹部の長さとはほぼ同じ, しかし肩部の少し下から急に狭くなり, 先端はとがり, そしてその先端の間は大きく開いている……………*Stenopterus*

このようにして3属に分け, その中に含まれる種については, 第3表に現在の学名と共に示した。

第3表 MULSANT (1839) の分類

MULSANT	現 在
<i>Molorchus</i>	<i>Molorchus</i>
<i>Dimidiatus</i> ; FAB.	<i>minor</i> LINNÉ
<i>Umbellatorium</i> ; LINN.	<i>umbellatarum</i> SCHREBER
<i>Necydalis</i>	<i>Necydalis</i>
<i>Major</i> ; LINN.	<i>ulmi</i> CHEVROLAT
<i>Salicis</i> ; DUPONT*	<i>major</i> LINNÉ
<i>Stenopterus</i>	<i>Stenopterus</i>
<i>Rufus</i> ; LINN.	<i>rufus</i> LINNÉ
<i>Praeustus</i> ; FAB.	(<i>ater</i> のシノニム)
var. <i>Ater</i> ; FAB.	<i>ater</i> LINNÉ
<i>Ustulatus</i> ; DEJ.	(<i>ater</i> の変種)

* 本文中 (112頁) ではこの学名を使用しているが, 付図 (pl. 1, fig. F) の説明には, 本文でこの種のシノニムにしている *Molorchus populi* BÜTTER (Mag. Ent. Germer, 3, p. 245, 1818) の方が書かれている。なお *Salicis* について DUPONT の記載は見あたらず, 現在では *Salicis* MULRANT として引用されている。

一方、イギリスの昆虫学者 NEWMAN はフランスの MULSANT とはまったく別の解決法を1840年に示した。彼は New Holland (オーストラリア) のカミキリを記述するにあたって¹²⁾、新属 *Heliomanes* を作り、これに *H. sidus* NEWMAN なる新種を記載し、*Necydalis* にも新種 *N. auricomus* NEWMAN を入れた。そして同じ年の別の雑誌¹³⁾において次のように主張している。

「*Heliomanes* NEWMAN (1840) なる属は、New Holland からの新種 *sidus* を受け入れるために作られた属であるが、タイプ種は *H. minor* すなわち *Necydalis minor* LINNÉ である。その他この属に追加される種としては *umbellatarum* LINNÉ で、両者ともヨーロッパ、イギリスに産する。またアメリカ合衆国の北部に産する *H. bimaculatus* (*Necydalis bimaculatus* SAY) もこの属に入る。

Necydalis は LINNÉ の著書の第12版で性格が確定された属で、LINNÉ は2つの Section に分けている。第1の Section は *major*, *minor* および *umbellatarum* で、第2の Section は種々の Heteromerous beetles (異節の甲虫) を含んでいる。FABRICIUS は Systema Eleutheratorum⁹⁾で、何らの理由も記述せずに1新属と2つの新名を作った (以下 *Molorchus* および *abbreviata* と *dimidiata* などのことについて説明しているが、このことはすでに前項の FABRICIUS の所で述べているので省略する)。

1840年に私 (NEWMAN) は属を分けて、*Necydalis* にはヨーロッパ産の *major* LINNÉ をタイプ種とし、2番目の種として New Holland の *N. auricomus* を追加する。」

結局のところ NEWMAN は *Molorchus* FABRICIUS は *Necydalis* のシノニムであり、そのため *Molorchus* (現在我々の使用している内容の属) に対して新属 *Heliomanes* を提案したのである。NEWMAN の主張は客観的に見て正しいと思うし、また2つの属の性格もきちっと記述しているが、残念ながら現在の時点において考えると2つの欠点を持っていたと思う。

(i) 属のタイプ種の指定を、その新属を記述した論文中ではなくて別の論文中で行なっているので、現在の命名法から考えると *Heliomanes* のタイプ種を *minor* とすることはできず、*sidus* が monobasic でタイプ種となる。

(ii) 彼が *Necydalis* の性格を記述した時に入れた種 *auricomus* は、その後別属であるとされたこと。

現在における処理では *Heliomanes* は *Molorchus* のシノニムとされている。また *auricomus* を AURIVILLIUS (1912)¹⁴⁾ は *Hesthesis* NEWMAN (1840) とし、

その後 MCKEOWN (1945)¹⁵⁾ は *Proagapte* MCKEOWN (1945) (これは *Agapete* NEWMAN, 1845年の置換属として提案された属) に移し、Tribe も *Necydalini* から *Bimiini* に変更した。

文 献

- 1) LINSLEY, E.G.: The Cerambycidae of North America, Part IV, Univ. Calif. Pub. Ent. **21**, p.157 (1963)
- 2) CHEMSAK, J.E.: Type Species of Generic Names Applied to North American Lepturinae, Pan-Pacif. Ent. **40**, p.233 (1964)
- 3) MULSANT, M.E.: Histoire naturelle des Coléoptères de France, Longicornes, p.110(1839)
- 4) LINNÉ, C.: Systema Naturae ed. 10, p.421 (1758)
- 5) 草間慶一: カミキリムシの研究史(1), 甲虫ニュース, No.12, p.1 (1971)
- 6) LINNÉ, C.: Fauna Suecica sistens animalis Sueciae regni ed. 1 (1746); ed. 2 (1761)
- 7) FABRICIUS, J.C.: Systema Entomologiae, p.209 (1775)
- 8) FABRICIUS, J.C.: Entomologia Systematica, p.356 (1792)
- 9) FABRICIUS, J.C.: Systema Eleutheratorum **2**, p.371~375 (1801)
- 10) ILLIGER, J.C.W.: Familien, Gattungen und Horden der Käfer von Latreille, Mag. Insektenk. **3**, p.120 (1804)
- 11) LATREILLE, P.A.: Histoire naturelle, générale et particulier des Crustacés et des insectes **2**, p.282~322 (1804)
- 12) NEWMAN, E.: Nonnullorum Cerambycitarum novorum, Novam Hollandiam et Insulam Van Diemen habitantium characteres, Australasian Longicorns, Ann. Nat. Hist. London **5**, p.14~21 (1840)
- 13) NEWMAN, E.: Entomological Notes, Entomologist **1**, p.20 (1840)
- 14) AURIVILLIUS, C.: Coleopterorum Catalogus, Par **39**, Cerambycidae, Cerambycinae, p.286 (1912)
- 15) MCKEOWN, K.C.: Rec. Aust. Mus. **21** (6), p.291 (1945)